



淀川区ボランティア・市民活動センター

やすらぎ通信

〒532-0005

淀川区三国本町 2-14-3

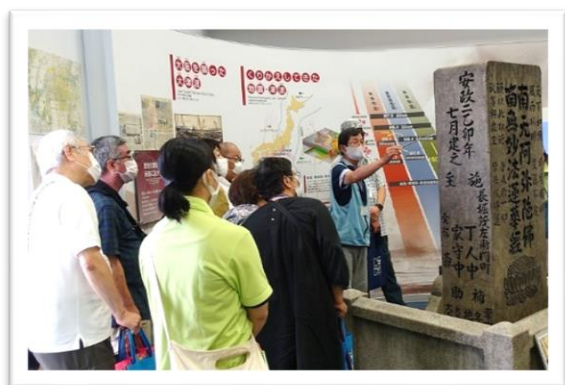
(淀川区在宅サービスセンター やすらぎ内)

☎ 06-6394-2900 / FAX 06-6394-2978



ボランティア養成講座

災害ボランティアセンター運営ボランティア養成講座を開催しました



9月6日、9月19日の2日間に渡り、災害ボランティアセンターの運営に従事していただくボランティアのための養成講座を開催しました。

淀川区は淀川と神崎川に挟まれ、南海トラフ地震に伴う津波災害が想定されています。そのため、初日は西区にある「津波・高潮ステーション」を訪問し、水害や防災について学んでいただきました。高潮と津波の違いや海

抜0メートル地帯での災害、淀川区で想定される浸水被害など、過去に起きた水害や地震の歴史も通しながら、知識を深めることができました。

2日目は講師にピースボート災害支援センターをお招きし、淀川区民センターのホールで班ごとに分かれて、各地域の社協会長や防災リーダー、淀川区役所と共にマッチングシミュレーションゲームをしました。このカードゲームはピース

ボートが各被災地で支援活動をしてきた経験をもとに作成したものです。参加者の皆さんには、災害ボランティアセンターに寄せられる地域のボランティアニーズやマッチング方法を疑似体験していただきました。また、マッチングの途中でハプニングカードが読み上げられ、対応について班ごとに話し合いをしました。様々な立場の参加者が集うことで、アイデアが生まれ、よりベターな判断とはなにか活発な意見交換をして、災害ボランティアセンターの役割や機能を学んでいただきました。



今回の講座が、災害ボランティアセンターと地域や関係団体とが連携した円滑な被災者支援を目指すための第一歩、となればと考えています。受講後には参加者の皆さんに災害ボランティアセンター運営ボランティアとして登録をしていただきました。今後もフォローアップ研修の開催や災害ボランティアセンターの認知度を高めるための取り組みをしていきます。

コロナ禍でのボランティア活動

日本で新型コロナウイルス感染症の患者が確認されてから、半年以上が経過しました。皆さんのボランティア活動もこれまでのものとは違ったものになっていると思います。今月のやすらぎ通信では感染症対策をしながら、ボランティア活動を継続している団体や個人をご紹介します。今後の活動のご参考にしていただければ幸いです。



健康麻雀



7月20日(月)に淀川区老人福祉センターで「健康麻雀」を開催しました。感染症拡大防止のため、健康麻雀ボランティアや参加者に手指消毒をしていただいた後、マスクとフェイスシールドを着用して参加していただきました。蜜を避けるため、卓の数を減らして配置を工夫したり、午前と午後で消毒した牌に入れ替えをしたりしました。また、空気が循環するように空気清浄機の使用や窓を開放して常時換気をしました。参加者の多くが初心者のため、ボランティアは各卓を回ったり、人数が足りない卓に入ったりして、アドバイスをしていました。ボランティアも参加者も久しぶりの健康麻雀を楽しんでいました。

第2回ゆっくりくるり



8月25日(火)に淀川区在宅サービスセンターやすらぎで「第2回ゆっくりくるり」を開催しました。当日はサポートボランティアとパフォーマンスボランティアの皆さんに来ていただき、会を支えていただきました。飛沫感染等を防ぐため、オカリナ演奏の辻井元雄さんとピアノ演奏の金谷文裕さんには参加者との間を2m程度開けて演奏していただきました。昨年12月に開催した「第1回ゆっくりくるり」のときは広島焼きを作りましたが、今回は感染防止のため、事前にお菓子セットを作り一人一人にお渡ししました。お菓子をいただきながらボランティアの演奏を聞いたり、自己紹介をして交流を深めました。また、今後も感染対策をしながら、楽しい会になるよう定期的で開催していきます。

淀川区音訳ボランティアグループ「こもれび」



淀川区ボランティア・市民活動センターの登録ボランティア団体である、淀川区音訳ボランティア「こもれび」は視覚障がい者のために「よどマガ!」などの情報を CD やテープに録音し、音声で届けています。新型コロナウイルス感染症前は毎週のようにメンバー全員が集まり、役割分担をして録音作業をしていました。緊急事態宣言の時期は代表者が自宅で録音をしていましたが、最近では蜜を避け、1回の録音に2～4名が参加して交代で録音をしています。入れ替え制でソーシャルディスタンスをとることで、メンバーが活動できるようになりました。

皆さんもどうすれば With コロナで活動をする事ができるか、一緒に考えてみませんか。

ボランティアから川柳の便利

〈川柳ボランティア 渡辺邦彦さん〉

古希過ぎた あとは米寿の 春を待つ

渡辺さんのコメント：これからも元気で楽しく暮らしていきます。



認知症カフェ「オレンジ」の再開のお知らせ

今年2月下旬より、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、認知症カフェ「オレンジ」をお休みしていましたが、10月より密を避けるため場所を3階の会議室に移し、不定期で再開することになりました。ぜひ皆さんお越しください。

10月・11月の開催日時

2020年 10月 1日・8日・15日・22日、11月 5日・12日

いずれも木曜日 14時～16時

開催場所 淀川区在宅サービスセンターやすらぎ 3階 会議室（住所：淀川区三国本町2丁目 14-3）

■お問合先 淀川区社会福祉協議会 TEL:06-6394-2900（地域支援・ボランティア担当 坂口）



「よどがわスマイル 写真コンテスト」 のご案内

新型コロナウイルス感染症により、外出機会が少なくなった方が多いのではないのでしょうか。今回の写真コンテストでは「秋」をテーマに作品を募集します！見る人が元気になるような「秋」を感じさせるお写真をお待ちしています！



コンテスト名 「よどがわ秋の写真コンテスト」
撮影テーマ 「秋」

■応募期間：2020年10月6日（火）～10月31日（土）

■賞および賞品：【最優秀賞】1点 図書券5千円分 【優秀賞】1点 図書券3千円分

【特別賞】3点 図書券 千円分

■応募資格：淀川区在住・在勤・在学の方。プロ、アマチュアは不問です。未成年者は保護者の同意が必要です。

■応募形態：スマートフォンやデジタルカメラ等で撮影したデジタル作品。1作品5MB以内のJPEGデータ。

■応募規定：1人1作品まで応募可。著作権や商標権、肖像権を侵害しない、未発表の作品に限ります。

■応募方法：淀川区社会福祉協議会のコンテスト専用メール（yodogawa.co@gmail.com）まで作品データを添付いただき、①作品のタイトル、②作品のコメント、③氏名、④住所、⑤電話番号、⑥掲載可能なお名前（愛称）をご記入の上、送信してください。メールのタイトルは「よどがわ秋の写真コンテスト応募」としてください。

■審査方法：応募作品はデータを未加工、未処理によりA4サイズにプリントアウトし、主催者が選定する審査委員が審査を行い、入賞作品を決定します。

■発表：2020年11月中旬に賞品の発送をもって入賞者へご連絡します。また、11月下旬以降にホームページおよびfacebook、やすらぎ通信などで入賞作品を公開させていただくとともに淀川区社会福祉協議会館内に今年度展示をさせていただきます。

■注意事項：・応募作品は原則として返却しません。・入賞発表後の辞退はできません。

・作者ご本人と連絡が取れなかった場合、入賞を取り消す場合があります。



主催：社会福祉法人 大阪市淀川区社会福祉協議会／担当：地域支援・生活支援体制整備事業

ボランティア活動の案内所・窓口



淀川区社会福祉協議会
マスコットキャラクター
「あんぴちゃん」

淀川区ボランティア・市民活動センターの『やすらぎ通信』では、各施設団体のボランティア募集、地域イベント等を掲載しています。ご希望の方は、下記までご連絡ください。

■掲載記事原稿締め切り日：毎月20日

■やすらぎ通信発行日：毎月1日

淀川区ボランティア・市民活動センター

〒532-0005

淀川区三国本町 2-14-3 淀川区在宅サービスセンター やすらぎ内

☎ 06-6394-2900／FAX 06-6394-2978

（ボランティア担当 坂口）

HP <https://www.yodogawaku-shakyo.com/>

※ホームページが新しくなりました。

Facebook <https://www.facebook.com/yodogawakushakyo>

